



さくら小 授業だより



松山市立さくら小学校

R 7 . 9 . 3

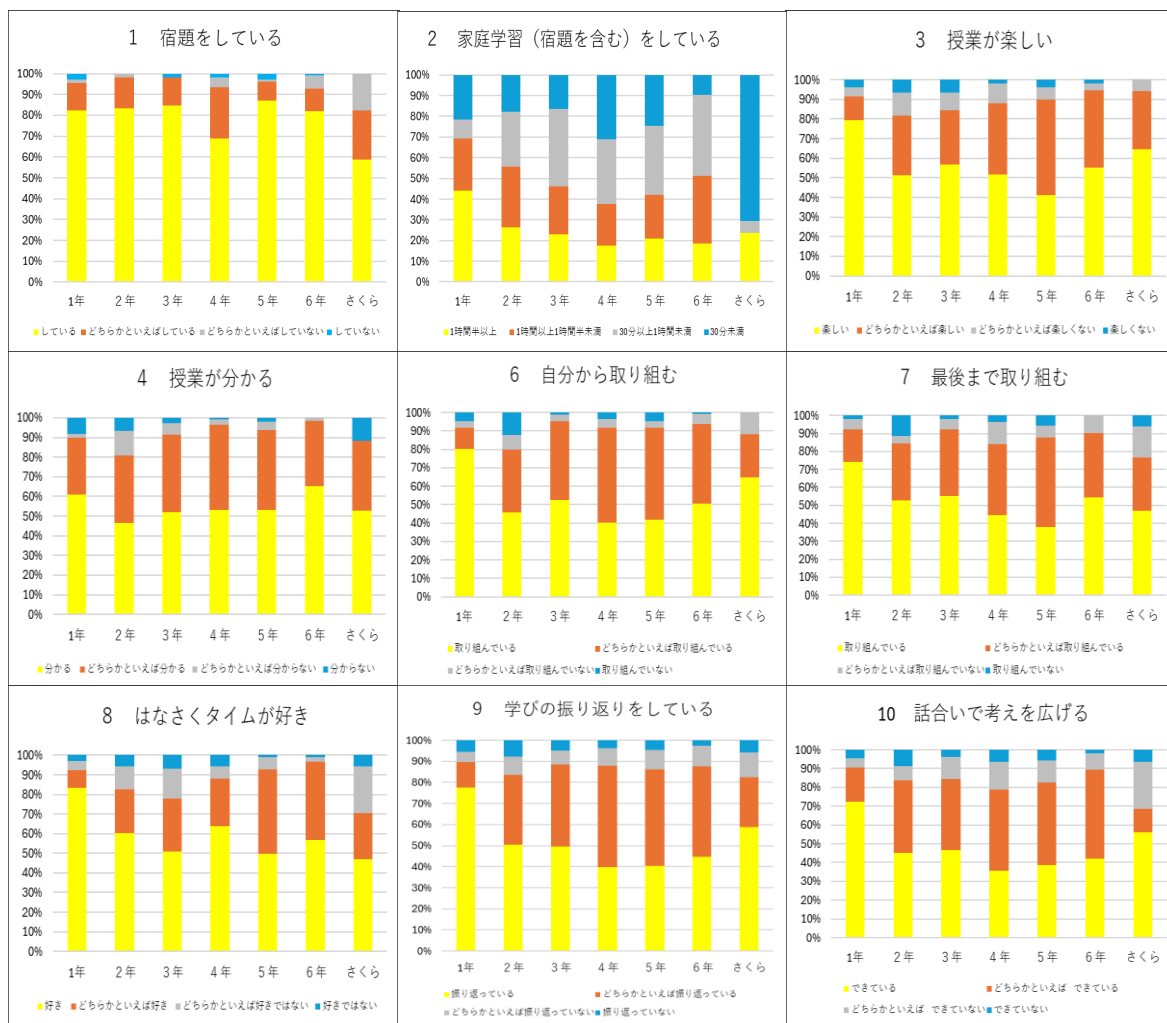
さくらっ子の実態調査・分析

1学期に子供たちに学習アンケートを実施しました。また、3～6年生には、理科についてのアンケートも同時に行いました。その結果を各学年で集計・分析し、子供の実態に即した授業改善や、子供たちの学習への意識の向上に努めていきます。

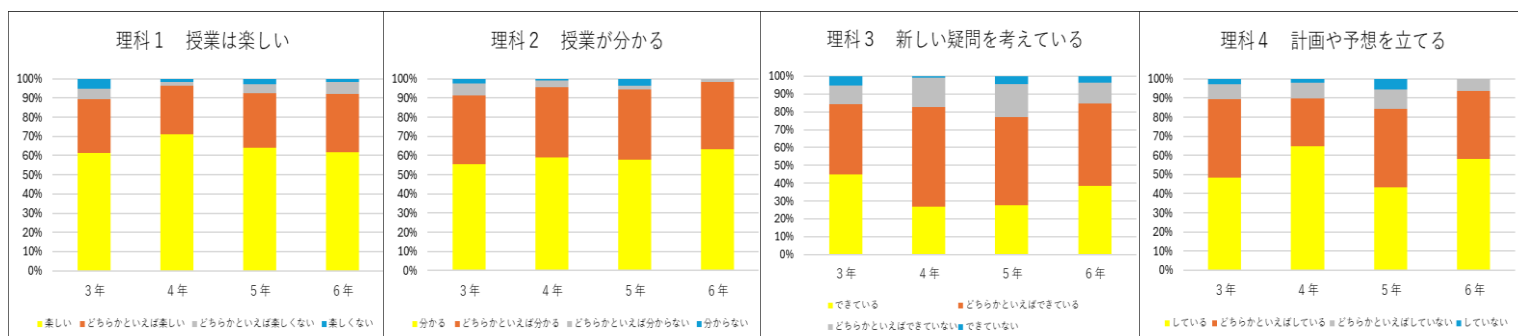
ご家庭でも話題にさせていただき、子供たちへの励ましなど、ご協力をお願いします。



◎ 全校の子供のアンケート結果



◎ 3～6年生の子供のアンケート結果（理科）



◎ 各学年の実態・分析

1年部

どの質問に対しても、約9割の子供が肯定的な回答をしています。しかし、その内訳を見ると、授業の楽しさや話合いの意欲が、必ずしも学習内容の理解や深まりに結び付くわけではないということが読み取れます。1年生は、これからの学習の土台を作る大切な時期です。子供の興味・関心や学ぶ意欲を大事にしながら、学習の進め方を丁寧に指導すると共に、学習内容の理解、定着が図れるように授業を工夫していきたいと思います。また、学習習慣の確立につながるよう、宿題の質や量についても考えていきたいと思います。

2年部

家庭学習にきちんと取り組んでいる子供が多く、各家庭でよく見て頂いていることがうかがえます。しかし、「授業が楽しくない」「授業が分からない」と感じている子供が2割程度いることが課題として挙げられます。1年時と比べて、学習内容が急に増え、難しくなったことが一因として考えられます。また、覚えることが苦手な子供も少なくありません。「分かる」「楽しい」授業を目指して、学年部で研修を進めると共に、反復練習等を通して基礎的な内容が身に付くように指導していきたいと思います。

3年部

学習への取り組み方について、肯定的回答が多かったです。しかし、「はなさくタイム」や「話合いで考えを広げる」など友達との交流については課題が見られました。話合いの目的を確認したり方法を丁寧に指導したりして、友達と交流して、より考えを深めることができるように指導していきます。家庭学習では、3年生の目安は40分ですが、30分未満の子供が約2割でした。家庭学習なども加えながら、学習時間や内容について指導していきたいと思います。

4年部

学習に対する意欲は高く、9割の子供が肯定的な回答をしています。しかし、話合いで自分の考えを深めたり広げたりすることには否定的な回答が2割程度います。話合いの目的や成果を意識させて取り組んでいきたいと思います。家庭学習については、1時間以上の子供が4割、30分未満の子供が3割と、二極化が進んでいる傾向が見られます。「家庭学習の手引き」を参考に、家庭学習で何をすればいいかを具体的に示すことに加えて、宿題への取り組み方も指導していきたいと思います。

5年部

「授業が楽しくない」「授業が分からない」と感じている子供が一定数いることが分かりました。今後もすべての子供が「楽しい」「分かりやすい」と感じられる授業づくりを目指し、学年部で研修を進めていきます。また、5年生の子供は、友達と意見を交流する「はなさくタイム」の活動を楽しんでいることも分かりました。2学期からは「はなさくタイム」を通して、自分の考えがどのように深まっていくのかという視点を大切にしながら、より効果的な指導に努めていきます。

6年部

家庭学習時間が1時間以上できている子供が半数に満たないことが分かりました。中学校に向けて基礎学力をしっかりと固めるためには、毎日の学習習慣が不可欠です。今後は、自主学習の質を工夫し、効率よく学べるような取り組み方について指導していきたいと思います。また、学習開始の時刻を決めたり、テレビやスマートフォンの電源を切るといった学習環境を整えたりすることの大切さについても適宜指導し、1日1時間以上の家庭学習時間の確保につなげていきたいと思います。

さくら組

授業が楽しい、分かったと答えた子供が9割と多いのですが、家庭学習は、宿題を中心に取り組む子供が8割ほどで、毎日取り組むことが難しい子供もいます。また、ほとんどの子供が、30分以内と短時間です。子供の興味・関心や学ぶ意欲を大事にしながら、学習の進め方を丁寧に指導し、家庭学習へとつなげていけるようにしたいと思います。